

## ■スガウェザリング技術振興財団からのお知らせ

### 第42回表彰・第43回助成贈呈式

(公財)スガウェザリング技術振興財団では、毎年ウェザリングに関する研究について、著しい成果を上げられた方の表彰並びに研究助成を行っています。今年も多数の応募の中から厳正な審査の結果、第42回表彰3件、第43回助成5件を決定し、2024年4月25日(木)に霞山会館に於いて贈呈式を執り行いました。受賞者および受領者は下表の通りです。



贈呈式 会場風景(霞山会館)

#### 第42回 スガウェザリング財団賞 表彰

##### ■科学技術賞

受賞者	研究業績の名称
今津節生 奈良大学 学長	糖類を用いた水浸出土文化財の保存

##### ■科学技術功労賞

受賞者	研究業績の名称
鈴木 茂 東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 教授	各種酸化鉄の構造変化の解析および応用展開

##### ■審査委員特別賞

受賞者	研究業績の名称
朝川美幸 仁和寺 学芸員	仁和寺および被災した文化財の保全、継承に係る活動と研究

#### 第43回 助成(研究助成)

受領者	研究課題・目的
石田崇人 名古屋大学大学院 工学研究科 物質科学専攻 日本学術振興会 特別研究員 PD	樹脂材料の屋外自然劣化及び 各種ウェザリング法による促進劣化試験のモデリング
宮崎慶輔 金沢工業大学 基礎教育部 プロジェクトデザイン基礎教育課程 准教授	超臨界染色されたポリプロピレン繊維の消費性能

#### 第43回 助成(国際会議助成)

受領者	国際会議名
近藤剛史 東京理科大学 創域理工学部 先端化学科 准教授	Advances in Corrosion Protection by Organic Coatings 2024 (ACPOC 2024)
藤原 裕 元 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 研究フェロー (現 技術コンサルタント)	ISO/TC107 第36回総会 (2024年日本開催)
星 芳直 名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授	4th Asian Symposium on Electrochemical Impedance Spectroscopy (AEIS2024)

(敬称略)

### 第43回表彰・第44回助成 7月より募集開始

本年度も「ウェザリング」に関する研究について、表彰・助成(研究助成・国際会議助成)を実施します。7月から推薦募集を開始し、締め切りは10月末です。詳細は当財団ホームページ(<https://www.swtf.or.jp/>)に掲載します。



## 第1回高校生探究助成

(公財)スガウェザリング技術振興財団では、若い研究者の育成と科学的探求の奨励を目的として、高校生を対象とした探究助成事業を創設し、2023年度第1回を実施しました。

2023年7月1日から10月31日にかけて、高校や高等専門学校、教育委員会などへの公募案内を行い、当財団ホームページでも応募を募集しました。その後、当財団の選考委員による書類選考と選考会を実施し、最終的に8件の助成先を決定しました。第1回の受領者は下表の通りです。

### 第1回高校生探究助成 贈呈

受領者(代表者)	探究テーマ
佐藤孝樹 豊田工業高等専門学校 2年 豊田高専チーム (5名)	ごみ熔融スラグを使用したコンクリートの凍結融解抵抗性を向上させる！
佐藤空和 藤沢翔陵高等学校 1年 科学部 (1名)	ゴムの性質を保つために必要な条件と摩擦力の関係についての検討
柴田怜奈 旭川工業高等専門学校 2年 旭川高専金属材料研究会 (2名)	アルミニウム合金の大気腐食と耐傷性を有する防食皮膜の開発
中嶋蒼志 広島商船高等専門学校 1年 (1名)	船舶塗装 劣化研究
関口義人 川越工業高等学校 2年 化学科ボランティア(エコマグ) (3名)	屋外で使えるエコマグの開発
神尾春樹 川越工業高等学校 2年 科学部 (4名)	反転印刷による表札の耐候性
小野塚愛乃 川越工業高等学校 1年 化学科産学連携班 (1名)	自然環境による電極の劣化を防ぐ電気二重層コンデンサーの開発
谷 昂毅 膳所高等学校 1年 (4名)	酸性雨の影響を軽減させる方法とは？

(学年は応募当時 敬称略)

## 第2回高校生探究助成 7月より募集開始

本年度も「ウェザリング」を探求する高校生(高専生を含む)を対象とした助成を実施します。7月から第2回の募集を開始し、締め切りは10月末です。詳細は当財団ホームページ(<https://www.swtf.or.jp/>)に掲載します。



こちらの二次元コードからもアクセスできます。



(スガウェザリング技術振興財団 事務局)